



玉津のふくし

7.02



発行

守山市玉津学区
社会福祉協議会
広報啓発部会

令和6年度 玉津学区社会福祉協議会が始動！

5月13日(月)に開催された学区社協理事会で事業計画および予算等を検討していただいた後、17日(金)の評議員会ですべての議案が承認されました。交流の場、学びの場、楽しみ
の場、支え合いの場をたくさん計画しています。皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いします。



＜総務委員会＞

会長 石田 俊治
副会長 宮嶋 國彦
副会長 鈴木 繁幸
副会長 松岡 幹雄
副会長 中西 和子
事務局 藤本 武司

＜福祉人権部会＞

(13名)

部会長 清水 好洋
副部会長 田中 ひろ子
副部会長 北脇 昭子
顧問 西中 京子

＜ボランティア部会＞

(13名)

部会長 林田 俊子
副部会長 蓑田 美津子
副部会長 北野 雅代
顧問 石田 康善

＜広報啓発部会＞

(12名)

部会長 小柳 悌
副部会長 赤井 優
副部会長 渡邊 さやか
顧問 中西 和子

【主な取り組み】

- ・学区活動計画進捗管理
- ・各専門部会との調整
- ・子ども子育て支援事業
- ・玉津支え愛プロジェクト
- ・館外(先進地)研修
- ・自治会応援事業
- ・学区歳末事業など

【主な事業】

- ・ふれあいお楽しみ会
7月30日(火)・12月8日(日)
- ・在宅介護者のつどい
11月20日(水)
- ・「もりやま作業所」奉仕活動

【主な事業】

- ・サロンボランティア活動講座
6月24日(月)・第2回は未定
- ・学区すこやかサロン
11月12日(火)
- ・ひとり暮らし高齢者寄せ植え配布
12月22日(日)
- ・「石田デイサービス」奉仕活動
8月28日(水)
- ・「たいよう」奉仕活動

【主な事業】

- ・学区広報紙「玉津のふくし」の発行(年4回)
7月・10月・12月・3月
- ・啓発活動など
- ・「あじさい園」奉仕活動



～第1回 ふれあいお楽しみ会～ ご案内

対象者：65歳以上ひとり暮らしの方
70歳以上高齢者のみの世帯の方
日時：令和6年7月30日(火)
午後0時30分～午後0時45分各地集合
午後4時30分頃 各地解散
内容：琵琶湖クルーズ(石山寺港から堅田まで)
めんたいパーク見学
参加費：800円/人
申込み：玉津会館(TEL585-4822)まで
7月12日(金)締め切り
★ご案内のチラシを玉津会館に置いてありますので、お問い合わせください。

福祉協力員委嘱状交付式

& 第1回連絡会 4月26日(金)

福祉協力員は守山市全体で総勢 246 名が着任し、玉津学区内は 25 名となります。今年度代表を務める西中さんが則本事務局長より委嘱状を授与されました。「人にやさしく、まずわたしから」のスローガンのもと、地域の皆さまに寄り添う福祉協力員を目指してまいります。今後ともご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



第14回矢島すこやかサロン 4月18日(木)

おだやかな天候の中、矢島すこやかサロンを開催しました。参加者はスタッフ含め57人でした。初めて参加の方が3人おられました。今回は「エルフレンド」によるハーモニカ演奏でした。93歳の方がマイハーモニカで、飛び入り参加し、「ふるさと」と一緒に演奏してくださいました。力強い演奏に拍手喝采でした。なつかしい曲に合わせて合唱や手遊びを楽しみ、突然のアンコール演奏を「エルフレンド」の皆さんが引き受けてくださって感謝です。次回は、夏頃予定の案内に「待ち遠しいわ」のお言葉をいただきました。

**第62回十二里すこやかミニサロン****4月21日(日)**

自治会長の挨拶で始まりました。軽体操やじゃんけんゲームで、かわいらしい鯉のぼりを一個ずつゲットして、一気に会場は盛り上がりました。そして、お笑い福祉士「社福亭モーリー宇田さん」による、お笑いの効果についての説明や特殊詐欺に気をつけるように身振り・手振りで訴えていただきました。続いて、元気君による腹話術、高齢者川柳クイズ、南京玉すだれと出し物が続き、会場は常に和やかな雰囲気でした。



最後にお茶タイムで更に会話が弾み、次回7月7日を楽しみに解散しました。

民生委員・児童委員 見守り活動**5月15日(水)**

5月12日の『民生委員の日』『こどもまんなか児童福祉週間』の一環として、小学生の一斉下校に同行しました。道中、学校の様子を話してくれたり、うたを歌ってくれたり、楽しく帰りました。別れぎわに「ありがとうございました」の言葉。とってもかわいい玉津っ子でした。

**玉津学区福祉協力員館外研修****5月30日(木)**

大阪府大東市にある「川村義肢」に行ってきました。

最初に義肢装具の取り組みについての講義を聞きました。クイズ形式で、義足の原因で一番多いのは病気であることや、温泉やプール用の義足があることなど多くのことを学びました。義足で走る子どもさんの笑顔が印象的でした。次の製造工場では、使う方の年齢や体格、生活に合わせた車椅子や、義肢装具を丁寧に作られているところを見学しました。義肢装具の歴史については、時代によって目的や必要性が違ったことを知ることができました。最後に、バドミントン選手が使う背もたれのない車椅子など様々な目的の車椅子の試乗体験もしました。

障害によりできないのではなく、障害があっても補助具によってできることがあたり前であることの大切さを学ぶことができた研修でした。

**～熊本地震被災地を訪れて～****玉津学区民生委員児童委員協議会 6月16日(日)・17日(月)**

2016年に大きな被害のあった熊本県に研修に行きました。1日目は復興途中の熊本城、震災ミュージアム記憶の廻廊、旧東海大学の壊れた断層・校舎、崩れ落ちた阿蘇大橋。地震のすさまじさ・恐ろしさを痛感しました。2日目は、益城町で被災されたにもかかわらず、ポジティブに活動をおられる吉村さんの話を聞き、「避難所ではみんなで〇〇していく」「なんでもない毎日が宝もの」という言葉が心に残りました。もしかすると地震が起こるかもと心の備えを大切に、起きたときにどうするか常に考えていたいと思いました。

【旧東海大学内の断層】

【崩れ落ちた阿蘇大橋】

